

第二部 基礎医学委員会（第24期・第2回） 議事録

I. 日 時 平成30年4月3日（水） 12:00～13:00

II. 会 場 日本学術会議 6-B会議室

出席者 伊佐正、石川冬木、今井由美子、遠藤玉夫、岡部繁男、甲斐知恵子、河岡義裕、
神奈木真理、菊池章、松田道行

欠席者 東みゆき、神谷研二、小安重夫、多久和典子、吉岡充弘

III. 議 事

1. 前回議事録の承認

2. 分科会活動状況報告について（氏名の敬称略）

（1） IUBMB 分科会

韓国で開催される IUBMB Congress に中野昭彦、水島昇、菊池章が参加予定。2027年以降に日本での IUBMB Congress 開催の可能性について議論予定。

（2） IUPS 分科会

第95回日本生理学会大会で第一回分科会を開催。次回の大会が2021年中国で行われる。

（3） IUPHAR 分科会

WCP2018 国際薬理学会が京都で開催。そこで連携のシンポジウム等開催予定。第一回分科会を5月下旬に開催し、そこで役員、活動方針を決定予定。

（4） ICLAS 分科会

委員長は渡辺守予定。第一回分科会の開催予定日は未定。

（5） 形態・細胞生物医科学分科会

昨年11月4日に京都で第一回分科会を開催し、委員長に岡部繁男。基礎生物学委員会・細胞生物学分科会との共同シンポジウムを毎年開催。

（6） 機能医科学分科会

5月末に第一回分科会を開催予定。

（7） 免疫学分科会

昨年12月に仙台で分科会を開催し、委員長に小安重夫、副委員長に東みゆき、幹事に吉村昭彦。

（8） 病原体分科会

前期、感染症に関する教育の充実化の必要性について提言をほぼまとめる段階まで至った。今期メンバーは決定。役員等は4月20日に開催予定の総合微生物分科

会合同会議で決定。

(9) 神経科学分科会

委員 19 名。4 月 6 日に第一回分科会を開催し、役員等を決定予定。

国際連携の進め方、どのように発信していくか。

(10) 実験動物分科会

メンバーは決定、分科会は未開催だが委員長に小幡裕一予定。動物実験の環境作りに非常に重要な分科会。

本分科会で今期審議して欲しい事項として、各大学の動物実験センター等は現在医学系研究科にしか整備されていないが、他の生物系（理学、薬学、農学等）でも必須なので大学に整備する必要性について審議して欲しいとの意見があった。日本学術会議からの提言を出す方針での審議を依頼することとした。(11)、(12)、(13) 合同分科会、主担当は他

(14) 医学研究者育成検討分科会

メンバーは決定。分科会は未開催。

(15)、(16)、(17) 合同分科会、主担当は他

(18) 老年分科会

遠藤玉夫が世話人。主担当は臨床医学。

5 月 18 日に分科会を開催し、委員長を決める予定。

(19) 生命科学における公的資金のあり方検討分科会

委員長は石川冬木。前期の最後に提言をとりまとめ（資料3）、それを提出するために立ち上げた分科会である。活動が終わったので今期は活動予定なし。

(20) IUMS 分科会（合同分科会で主担当は他だが、今回立ち上げに協力した）

委員長は上田一郎予定。4 月 20 日の総合微生物分科会、IUMS 分科会、病原体分科会合同会議で決定。

3. 今期の課題について

1) 石川委員より：MCI についての分科会を第二部で立ち上げる提案が出ているとの発言があり、基礎医学委員会としても必要性を認識し、分科会設置に同意することとした。

2) 岡部委員より提案：技術職員の確保、キャリアパス、待遇改善の問題

基礎医学委員会の元に解剖・病理・法医学分野を中心として新たな分科会をつくることを提案することとした。

岡部繁男が提案書を作成する。

4. 30 年度夏季部会及び公開シンポジウムについて

夏季の第二部会、8 月 5, 6 日に福島で開催

一日多くして近辺でシンポジウム開催し、基礎医学委員会で教育と社会との交流を図るのはどうか？大学のあたりで開催すると大学の先生が集まる。（時間切れのため、次回

またはメール等で審議することとした。)

5. その他

添付資料

資料1 第24期第1回議事録(案)

資料2 基礎医学委員会所属分科会リスト

資料3 今期、生命科学における公的研究資金のあり方検討分科会より提出された提言「生命科学における研究資金のあり方」